

## 令和7年度(後期) 年少 「砂あそび」

砂の感触を、手や足など全身で感じてきました。初めは一人一人が自分の思うように砂に触れてきた子どもたちでしたが、何度も経験するうちに友達と山やトンネルを作ったり、水を運んで湖を作ったりする姿がみられるようになりました。少しずつ、砂あそびの玩具を増やしていく中で、友達と協力したり、一緒に遊んだりすることの楽しさを感じるようになってきているようです。



乾いた白砂に水をかけると  
「茶色くなった！」  
「かたまった！」  
と砂の状態が変わることを  
発見した様子でした。



水を運んできて、みんな  
で同じ場所に流すと大きな水たまりが  
できました。  
徐々に水を運ぶ子が増え、  
水もどんどん増えていきました。



「ここを掘ると、トンネルになる！」と言い、  
1人が掘り始めると「じゃあ隣も掘ったら手つな  
げるかな？」と言い、友達がやっていることを真  
似しながら遊びが広がる様子が見られました。





2人で始めたお山作り。徐々に大きくなると、「いれて！」と遊びに参加する子が増えました。お山を作っているうちに、砂山の周りの砂が少なくなってきたことに気づき、友達と協力して別の場所から砂山を運ぶ姿も見られました。



砂山から水を流すのに「流すよ〜」「いいよー！」とお互いに声をかけ合いながら遊ぶ姿が見られました。

